



# ネットワーク 通信 No.7

## ◆ 平成30年度 第1回 交流会 が開催されました！ ◆

6月21日(木) 宮城県対がん協会において交流会が開催され、15団体22名の方にご参加いただきました。



第一部では「患者アンケート最終報告」を宮下光令教授（東北大）から、「がんと診断されても仕事を続けたい～治療と仕事の両立支援について～」を藤井千代子氏（産保センター）からお話しいただきました。

第二部の交流会では、事前に皆さまからお寄せいただいた題材をもとに、患者会やサロンの運営資金、参加者の増員や定着、スタッフ育成、企画・広報についてのディスカッションが行われました。各団体の状況・情報を交換出来たことが今後活かせる事を願うとともに、話せなかった問題、見えてきた課題などは、また別に話せる機会を作って参ります。

## \* リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018みやぎ \* のお知らせ

今年で10周年となるリレーフォーライフみやぎ。実行委員長の高橋悦堂氏よりご案内をいただきました。

ネットワークみやぎも、今年3回目の参加をいたします。皆様、ぜひいらしてください！

日程：9/29(土)12:00～9/30(日)12:00まで。（初日開場11:00）

場所：仙台国際センター内 せんだい青葉山交流広場  
国際センター駅市民交流施設「青葉の風テラス」（29日のみ）



## ◆ 垣添忠生先生 全国縦断 がんサバイバー支援ウォーク ◆

日本対がん協会会長 垣添忠生先生はがん患者支援を訴え、全国がんセンター協議会加盟の32病院、総移動距離、約3,500kmの道のりを歩く「全国縦断ウォーク」を決意し、76歳にして挑戦、2月5日に福岡九州がんセンターからスタートし、全国のサバイバーにエールを送り、日本国民にサバイバーの支援を呼び掛けられました。

垣添先生ご自身がサバイバーで奥様もがんで亡くされました。6月7日は、山形より峠を越えて宮城県立がんセンターに来られ、出迎える宮城県立がんセンター、宮城県対がん協会のスタッフ、



そしてがん患者会・サロン ネットワークみやぎの横断幕に迎えられ、あのがんセンターの坂道を上ってこられました。



あの日は本当に暑い日でしたが、先生の志、強い意志と柔和なお顔に、思わず涙がこぼれてしまいました。悩み苦しむ方々の少しでもお役に立てればと、思いを新たにしたい日となりました。（吉田）

## ◆ 平成30年度 コアメンバー紹介&ひとこと ◆

<代表> 吉田久美子(四つ葉の会)： 私たちはピアとして支え合い、社会と繋がっています。がんサバイバーだからこそ出来ることがある。そこに向かって行きたいと思います。

<副代表> 高橋修子(りんりんの会)： 一人で10歩…より、みんなの1歩！です。繋がりながら大きな足跡を！

<副代表> 阿部佐智子(カトレアの森)： ログマークのように、みんなで手と手を繋ぎ一歩ずつ前に進んでいきましょう。

<メンバー> 佐藤まどか(カトレアの森)： 宮城県内の患者会・サロン団体のネットワークを作ったからこそ出来る取り組みに尽力いたします。

<メンバー> 後藤千鶴子(がんサロン:はなたば)： 今年からコアメンバーの皆様とご一緒に、ネットワークをより充実していけるように、頑張ります。よろしく願いいたします。